

るるる



今号の表紙

寿幸苑ヘルパーステーション

PICK UP

- 1 家にある日常の暮らしを支えて
- 2 青春＊思い出タイムマシーン

HELLO! NEW STAFF
鯉谷さんのひとりごと

暮らしを支えて 家にある日常の



日用品の買い物に付き添う安田CW。そばからさりげなく利用者さんをサポート

ご自宅にお住まいの利用者さんの元へ訪問介護に向かう職員さん。家というプライベートな空間で一人ひとりの方に向き合う様子を伺いました。

身体介護や料理、掃除、洗濯などの生活援助を通じて、いろんな角度から暮らしを支える訪問介護員さん。それぞれのお宅で行なうケアについて「その家ごとに色合いがあり、料理の味付けや洗濯の仕方にも好みや決まりことがあるので、その方の生活に即した形でケアに向き合っているなと感じます。時間ごとに行なうケアの内容は決まっていますが、柔軟に寄り添いその方の暮らしに向き合う時間です」と、職員**の安田さん**。サービス提供責任者の**菰原さん**も、ケアの傍ら利用者さんに話しかけたり、表情を見たりして「しんどそうかな」「眠いのかな」と様子観察に気を配っているそうです。「むかし、介助に伺っていた利用者さんがいて。その方がお亡くなりになってから2、3年後、偶然道でその奥さまに再会した時に「あの時は本当にありがとう」とお礼を言われて。

何年も経っているのに覚えていて、こんなに感謝されるなんて、人の心に残る仕事ができただ、と嬉しくなりました」**（菰原さん）**。「ずっとお宅へ伺っている利用者さんの中には、1年前と今では様子や状態が変わってきていると感じる方もいます。そのままお家に住み続けることはゆくゆくは難しいかもしれないけど、でき得る範囲でサポートして、ご本人やご家族の望みに寄り添っていきたいです」**（安田さん）**と話してくれました。



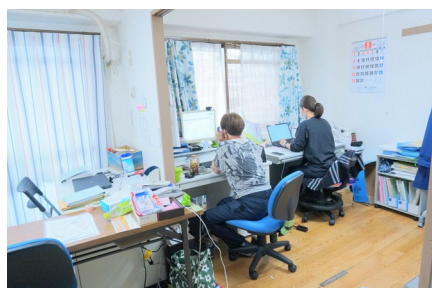
サービス提供責任者
菰原さん

利用者さんに覚えていただいて、安心してケアを受けてもらえるようにコミュニケーションを大切にしています。ご家族・ケアマネジャーさん・関わる方々と一緒にその方を支えていきたいと思っています。

寿幸苑ヘルパーステーション

訪問介護事業所

住所：大阪市生野区林寺 4-14-12-402



訪問介護の合間に事務作業



ケアの傍ら、会話の機会も大切に

るるる日誌 - 日々のできごと -

1



寿幸苑（特別養護老人ホーム）の入居者さんの病院受診に付き添った菰原CW。「日々を知る介護士さんとの情報共有は大切に、綿密に心をかけています」。

2



外出介助（買い物同行）で近所のスーパーへ。「お声かけするとご自身で商品を選ばれるので、寄り添う位で日々の買い物に付き添っています」**（安田CW）**。

3



月に一度行なわれるヘルパー会議。職員さんが集まり、利用者さんの共有事項やケアについて、体制について、研修についてなど、いろいろお話されていました。

青春＊思い出タイムマシーン

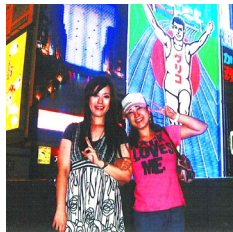
大好評だった「職員さんの懐かしい写真特集」第2弾！

今回も、読めば心がタイムスリップする（？）

職員さんのフレッシュな時代を写真とともにご紹介します。

聞いた人：ライフェル駒川、寿幸苑、
本部の職員さん

瀧さんが見せてくれたのは次の一枚。「20代後半に関西に引っ越した時に、地元の友達から大阪を案内してほしいと言われたのでミナミまで遊びに行きグリコの看板前で写真を撮りました。LEDになる前の看板なので、今では良い思い出です」



26歳の時の瀧さん（右）
地元の友達とグリコの前で



【 答えてくれた人 】

ライフェル駒川の介護士・瀧 真由美さん。
「20代前半までは地元の香川県に住んでいて、20代後半に関西に移住。マッサージ店でセラピストとして働いていました」

「短大生の時にバイクにハマリ、中型免許を取得。ガソリンを入れに立ち寄ったガソリンスタンドで所長にスカウト（?!）され、アルバイトすることに。「オーライッ！オーライッ!」と車を誘導することが楽しかったステキな思い出です」



短大時代の貞森さん
当時もバイトはかけもち



【 答えてくれた人 】

ケアカレッジの先生だった貞森 陽子さん。「昔から働き者で今春まで3つの仕事をかけもち。寿幸苑では色々チャレンジさせて頂き、好奇心旺盛な私にとって素敵な経験になりました」



ファームステイ時代の
喜多さん（2列目中央）

「26歳の時、ワーキングホリデーでオーストラリアへ。3ヶ月間のファームステイでは毎朝5時起きで午後から自由時間。暇な時は多かったですが、いろんな国の人と野菜を育て、料理して、お酒を交わしながら過ごす時間は格別でした」。

【 答えてくれた人 】

法人本部で人事を担当する喜多 祐二郎さん。
「コロナ禍で海外の友達に会いに行くことはできませんが、FacebookやInstagramで近況を見て元気をもらっています」



高校時代の玉田さん（右）
小学校からの同級生と

玉田さんが見せてくれたのは高校1年生の夏、中庭で撮影した一枚。「斜め45度のポーズでモノクロにすれば一番きれいな写真になると言われ、写真部の子に『撮って!』と頼んで撮ってもらいました。高校時代は超まじめな学生でした」。

【 答えてくれた人 】

寿幸苑で生活相談員を務める玉田 裕美さん。
忙しい仕事の傍ら、夜遅くても旦那さんの夕食を支度したり、休みの日はお孫さんの面倒を見たり。公私ともアクティブに過ごされています。



社納さんが見せてくれたのは高校時代に撮った一枚。「高校生の時は剣道部に所属し、先輩に厳しく仕込まれました。工業高校だったので女子が少なく、同級生は男子学生ばかり。少し物足りなさを感じていた頃でした」。



高校時代の社納さん
校庭で撮った一枚



【 答えてくれた人 】

寿幸苑で入居者さんの送迎や社内便の配達などを務めるドライバーの社納 信夫さん。「学校からの帰り道はコロケを買い、ひと駅分歩きながら友人たちと帰ったのも良い思い出です」

中西さんが見せてくれたのは、中学校の卒業式の日に撮った一枚。「式の後には撮影会みたいになり、いろんな子とわちゃわちゃ写真を撮った思い出です。学生時代は美術部で、放課後は部室に集まり、好きな創作活動を楽しんでいました」



中学3年の中西さん（左）
卒業式の日に



【 答えてくれた人 】

法人本部で総務を務める中西 知世さん。仕事はバリバリこなす一方、私生活ではグルメな情報通だったり、かわいい人形のガチャガチャにハマったりと、癒やし系の人柄も魅力。

各事業所で、ときには外にとびだして、最近行なわれたさまざまな活動を紹介します。

1 近くの公園へお花見に

日時：4月2日（土） 事業所：寿幸苑

コロナ禍で外出しづらい日々の中、施設近くにある生野南公園の桜が見頃に。そこでこの日は、4階・5階の入居者が束の間のお出かけ。桜の花びらを持ち帰られたりと、それぞれお花見を楽しまれた様子でした。



2 ライフェル ファームで育ててます

日時：5月18日（水） 事業所：ライフェル駒川

施設の玄関先にある「ライフェルファーム」。今は、ひまわり、バラ、ラベンダー、きゅうり、いちご、イマカフェ用のミントなどの花や野菜を育て中。職員の辻村さんと入居者が楽しみながらお世話しています。



3 通り沿いに事務所をオープン

日時：5月～ 事業所：寿幸苑 居宅介護支援事業所

介護について相談を聴き支援を行う「居宅介護支援事業所」の事務所が寿幸苑（特別養護老人ホーム）の隣にオープン。通りに面した立ち寄りやすい場所で、日々利用者さんや地域の方、ケアに向き合っています。



4 カレーうどん×甘味の屋台を出店

日時：5月22日（日） 事業所：寿幸苑 居宅介護支援事業所

地域の方との交流を目的に、居宅のケアマネジャーさんが1日限定屋台を出店。旨味あるカレーうどんとひんやり冷えたフルーツポンチを前にたくさんの方が来場し、お昼前には完売！大好評のフードイベントになりました。



Hello! NEW STAFF



ケアワーカー
三上 佳久さん
(寿幸苑)



ケアワーカー
密原 優衣さん
(寿幸苑)



ケアワーカー
樋口 沙也加さん
(寿幸苑)



ケアワーカー
グエンティフエさん
(寿幸苑)



総務
實近 拓海さん
(寿幸苑)



管理栄養士
新家 彩乃さん
(寿幸苑)



ケアワーカー
多田 浩治さん
(サボテンの花)

出身	兵庫県西宮市	大阪府大阪市	大阪府大阪市	ベトナム	大阪府吹田市	広島県尾道市	大阪府大阪市
好きな食べ物	焼き肉 グラタン	甘いもの 和食・韓食	チョコレート	焼き肉 たこやき	からあげ	エビフライ	酒
好きなこと・特技	お酒 ボクシング	旅行	犬・フルーツ	旅行・料理	アニメと野球を 観ること	お笑い鑑賞	集団レクリエーション

AND MORE! ナース：瀬尾 ひとみさん（寿幸苑） ※2月～5月末の入職者を紹介しています

鯉谷さんの



ひとりごと

No.016

今日の問題は過去の解決策

「屋外はなしでOK。距離が近くても黙っていればなしでOK」とマスクの着用ルールについて政府の見解が変わり始めています。でも、いま日本では周りの目を気にしてマスクを逆に外しにくい問題が出ているらしいです。また、うちの法人でも警戒レベル4が長引きすぎていて、ご家族に会えない期間の長期化や職員同士の交流、レクの面でも多くの問題が出てきています。でも、感染者数も濃厚接触者のルールも大きく変化がないのでなかなか警戒レベルを下げづらい。あらゆることに共通して言えることは、

いま起きている問題のほとんどは過去の解決策から生まれているということです。あるいは、将来の問題のほとんどは今日私たちが作っている解決策から生まれるとも言えると思います。当たり前のことですが改めてそのことに気づかされています。いま手にしている解決策に対しては謙虚でありたいし、いま起きている問題に対しては、その背景には、過去に一生懸命何かの解決に向けて取り組んだ人が居るんだということに敬意と思いやりを持ち続けられる自分でありたいと感じました。